



飼料高騰の今！

## 「自給飼料でタンパク質を確保する」

心地よい風が吹き抜け、牧草がたなびくとキラキラと美しく見える季節になりました。

飼料の高値は相変わらず、様々な手を尽くし飼料費削減の工夫をされていることと思います。飼料費を削減しようとする、多くの方はタンパク源であるルーサン乾草やヘイキューブ、大豆粕などを真っ先に削っているのではないのでしょうか？高タンパク飼料は高価なものが多く、飼料費削減効果が高いです。しかし、一方で、子牛の発育が鈍くなったり、繁殖成績が悪化したり、実は経営改善に結びついてなかった…という恐れがあります。今号では、飼料中のタンパク質についておさらいし、タンパク飼料の確保の一案をお伝えします。

### < 飼料中のタンパク質の働き >



- ▶ 体の維持、成長、繁殖、泌乳に必要な主要栄養素
- ▶ 特に必要なのは、**発育中の子牛、分娩前後の親牛**

### < タンパク質が不足すると…？ >

- ▶ 子牛：虚弱、発育不良、疾病、死亡の増加 → 子牛の市場評価低下
- ▶ 親牛：繁殖成績悪化 → 市場出荷頭数の減少、治療費の増加

- ・ 発育中の子牛：免疫低下による疾病罹患率上昇、発育の鈍化  
→ 子牛の市場評価が下がる
- ・ 分娩前の親牛：胎仔の発育鈍化、在胎日数の延伸、難産の確率上昇  
(2週間前) 胎仔の胸腺の発達鈍化、出生子牛の虚弱や疾病、死亡の増加  
→ 子牛生産率が下がる、子牛の市場評価が下がる
- ・ 分娩後の親牛：ホルモン作用が停滞、卵巣・子宮の動きが鈍化、繁殖成績悪化  
(受胎前) → 子牛生産率が下がる



### < タンパク飼料の給与はメリハリを！ >

- ▶ **発育中の子牛、分娩前後の親牛** に優先的に！
- ・ タンパク飼料を削減したいときは、上記以外の牛（分娩後期を除く妊娠牛）で実施

### < タンパク飼料はムダなく消化吸収させよう！ >

- ▶ 飼料給与の順番

① **センイ(乾草、ワラ)** ② **炭水化物(配合飼料)** ③ **タンパク質(大豆粕、3番草)**

- ・ 給与の順を間違えると、高価なタンパク飼料が消化吸収されずにムダになってしまう

ポイント

# < 『自給飼料 高タンパク化作戦』 の提案 >

## ▶ 1 番草の早刈り **オススメ!**

### イネ科牧草を 出穂始め～出穂期 で収穫する

出穂始め：1㎡当たり2～3本出穂した状態  
出穂期：全体の5割が出穂した状態

#### ☀️ 早刈りのメリット ☀️

栄養価が高く、消化率も高い  
茎径が細いので乾燥が速く、低水分化が容易  
単位当たりの草量が少なく予乾効率が高い

#### ☔️ 早刈りのデメリット ☔️

乾物収量が幾分減少する

目指そう！  
粗タンパク質（CP）  
12～14%（乾物中）



みなさんが管理している  
牧草地の一部分を  
「高タンパク飼料確保用」に  
位置付けて、実施しては  
どうでしょうか？



### < 水分50%の目安 >

予乾牧草を軽く一束つかみ、  
両手で強く絞って  
かすかに湿り気を感じる程度

## ▶ 牧草を予乾させすぎない **注意!**

ロールサイレージの場合、**水分50%前後を目指し**、過度な予乾は避ける  
予乾中も牧草は呼吸を続け、飼料中のタンパクが減少する  
水分40%を切ると高栄養価の葉部の脱落や粉碎により栄養ロスが急激に増加する

### ▷ 牧草地へマメ科牧草の追播

オーチャード主体の牧草地に赤クローバを追播

### ▷ 1年生牧草やムギ類の作付けと早刈り

イタリアンライグラス、ライムギなどを出穂始め～出穂期で収穫



高タンパク飼料は、  
給与において  
稲WCSと相性Good！  
持っていると重宝です。🌟



年間  
シリーズ

## 《子牛を大きく育てよう！①》～岩手県肉用牛飼養管理マニュアルから～

### ○ 妊娠末期、授乳期の母牛の栄養管理について

繁殖牛は、妊娠末期は**胎児の発育**、授乳期は**泌乳のため**、  
**維持期よりも養分要求量が増加**します。このため、妊娠末期、  
授乳期は「**増飼**」が必要となります。

体重450kgの繁殖牛において、粗タンパクが妊娠末期で  
**維持期の約1.4倍**、授乳期で**約2.2倍**必要です。  
推定体重をもとに、必要な養分量を給与しましょう。

マニュアルの  
ダウンロード  
はこちら→



表 各期における給与例(kg/日・頭)

	オーチャード グラス サイレージ	稲ワラ	濃厚 飼料
維持期	7.5	2.0	—
妊娠末期	7.5	1.0	2.0
授乳期	9.0	1.0	3.5

## 《市場上場時のチェックポイント!!》

- ① 高く繫いで見（魅）せる! → 背線が伸び、力強い背腰に見られます
- ② 長く繫いで見（魅）せる! → 多くの購買者に見てもらいましょう
- ③ 削蹄を行いましょ! → 蹄のつなぎ部が強く見えます
- ④ 牛体洗浄は前日までに! → 糞ヨロイの跡は問題外です



## 春の農作業安全月間

(令和5年4月15日(土)～6月15日(木))

令和5年度スローガン

「農作業 慣れと油断が 事故のもと」



お問い合わせ>>

奥州農業改良普及センター  
0197-35-8451

一関農業改良普及センター  
0191-52-4961

